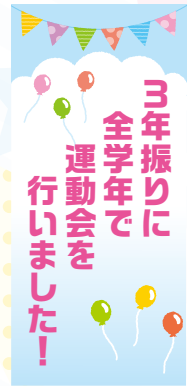




体験教育

編集／体験教育編集委員会
発行／学校法人 明星学苑
東京都府中市柴町一丁目四二番八号
電話 〇四二二六八五二二
制作／信濃印刷(株)

目次	
幼稚園	3
3年振りに全学年で運動会を行いました！自分の「好き」を見つけるくめばえの時間	2
日々の活動	4
小学校	5
一年生 プログラミング学習	5
二年生 校外学習	5
三年生 「海辺の教室」	5
四年生 宿泊学習 秋の学校	6
五年生 山の学校	6
三年ぶりの宿泊学習	6
六年生 思い出の時間の共有	7
地域に感謝の気持ちを！	7
六年松組クラス探究活動報告	7
5・6年生 くめぎの時間 探究学習ゼミ活動がスタート！	8
中学・高等学校	8
職場体験 中高一貫二年 鈴川 結菜	9
職場体験 中高一貫二年 山平 慶哉	9
精密機器を実際に見て	9
中高一貫二年二組 清川 広翔	9
職場体験で学んだこと	10
中高一貫二年四組 古閑永実理	10
職場体験で学んだこと	10
中高一貫二年三組 一山 優月	10
学校で習った英語が通じた！	10
中高一貫二年二組 井戸坂暎理	11
研修旅行 大阪語学研修	11
高1 MGSグローバル探究セミナーに参加して	11
高校一年十一組 平前 喜人	11
研修旅行に参加して	11
高校二年十一組 栗原 栞	12
明星祭の公演	12
演劇部部長 高校二年三組 信藤 優奈	12
インターハイ	13
高校三年六組 深澤 咲喜	13
哲学掲示板	13



2学期は子どもたちが様々な体験をするチャンスがたくさんありますが、中でも気合い十分だったのが運動会です。今年は3年振りに全学年揃って実施することができ、以前の活気が戻ってきた様子に嬉しくなりました。ドキドキとワクワクが入り交じった表情をしながらも、たくさん応援を力に変え、いつも以上の力を発揮した子どもたち。特に年長組は、幼稚園生活最後の運動会です。夏休み明けから当日の係活動の話し合いを始め、一人ひとりがそれぞれのイメージを膨らませていきました。役割を持つことで責任感が生まれ、自分たちの運動会という意識も日に日に高まっていきました。鳴子やチャダンスに関しては、他学年を訪問し、目の前で踊りを披露してくれました。初めは圧倒されていた年少さんたちも、その様子をじっと見つめ、時には一緒に踊りながら、お兄さん・お姉さんへの憧れの気持ちが膨らんでいったことでしょう。大人気のチャダンスは、年少組の頃に持った憧れの気持ちを年長組までしっかりと覚えている子もいます。自

信に満ち溢れた姿で堂々と、小さいクラスのお友だちに披露する姿は、明星幼稚園で最も大切にしているものの一つでもある「3年間の成長」そのつながりを感じる瞬間です。

年中組も年少組の頃の経験をもとに憧れのお兄さん・お姉さんが頑張っていたパラバルーンの演技をクラスごとに行いました。

直径7メートルもあり、見た目以上に難しいので練習にも熱が入っていました。繰り返し取り組む中で、技が完成した時の喜びを味わった、みんなで力を合わせて協力したりする大切さを学びながら、当日はどの子も堂々と演じることができました。

初めての運動会となる年少組は、「一体何が始まるの?」と、行事を知るところからですが、練習を重ねていく中で、「かけっこしたい」「踊りの曲かけて」と自分たちから進んで活動に取り組み始め、他学年が一生懸命練習している姿を見ることが、自分たちも頑張ろうと刺激を受ける様子が見られました。

どの学年も日々の保育活動の中で得た「憧れの気持ち」「友だちと一緒に行う楽しさ」「嬉しさ」「喜び」を積み重ね、大きく成長した姿を見せてくれました。

クラスのお友だちを目指してバトンを繋いでいきます。



係活動のチャダンス! 音楽に合わせて可愛く踊りました。

玉かごにボールが入るかな? “がんばるぞー!”



かっこよく踊る姿は、年少中組の憧れです!



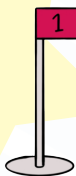
みんなで協力してパラバルーンを行いました。



ゴールテープまで1位を目指して頑張るぞ!



背の順にも上手に並べるようになりました!



“よーい!”のポーズをみんなで練習中。



可愛い怪獣さんに変身! 先生と一緒にポーズ♪



自分の「好き」を見つける

めばえの時間

2023年度より幼稚園のカリキュラムとしてスタンダードとなる「めばえの時間」のプレ実施では、それぞれの活動を通して「コミュニケーション能力」「好奇心」「感性」を養い、子どもたちの自己肯定感を高めることをねらいとしています。まず、年長組ではJAXA宇宙教育センターとの連携活動で「バルーンロケット」を制作して飛ばしました。事前に宇宙についての映像を見たり、壁に掲示した写真を見たりしておくことで、子どもたちも大いに期待を持つことができました。年中組ではNPO法人ARDAを介しての一流の芸術に触れる活動で「影絵体験」をしました。まずは、大きな色付きシールと透明シートを貼り合わせ、自由な形に切ってオリジナルキャラクターを作ります。そしていよいよスクリーンに投影です。「どんなふうに映るかな?」とワクワクしながらキャラクターを操り、物語「てぶくろ」の影絵劇を上演。保護者の方に見ていただきました。年少組では臨床美術の専門家によるアートプログラム「わくわくパレット」で「丸い形のデザイン」の活動を行いました。黒い紙の上に二色の大きなシールと四色の小さなシールを好きな位置に貼り「お顔が出来たよ!」「赤はここにする!」と楽しむ姿が見られました。作品が出来上がると、先生が一人ひとりの作品に「ここが素敵だね!」「この形がとてもいいね!」と感想伝え、みんなで拍手を送り合いお互いの創造力や個性を認め合いました。

年中組

自分のオリジナルキャラクターを制作中。



影絵体験後も影絵ごっこを楽しみました。可愛い蝶が飛んでるね。



宇宙食のアイスを食べました。「どんな味かな?」ドキドキするね。



スクリーンに自分で作ったキャラクターを映しました。とっても綺麗だね!

年少組

創造力を膨らませ、個性豊かな作品が出来上がりました。



「今日はどんなことをするのかな?」みんな真剣に説明を聞いています。



完成した作品を並べ、一人ひとりの良い所を先生がお話ししてくれました!

遠くまで飛ばせるかな?みんなて何度も挑戦しました。



年長組

バルーンロケット完成!今から外に飛ばしにいくよ。



先生から宇宙のお話を聞きました。みんな興味津々です。



日々の活動



敬老はがきをポストに投函しました。郵便屋さんもいたよ！



チューリップの植木鉢に絵を描きました。お花が咲く頃は小学生だね。



副園長先生に絵本を読んでもらいました。みんな絵本が大好きです。



稲刈りをしました。上手に切れるかな？



ハロウィンの英語あそび。先生も仮装してレッスンをしてくれました。



ハロウィンごっこでおばけに変身！みんなを驚かせちゃうぞ！



お月見団子をみんなで見たよ！まんまるのおつき様楽しみなね。



“やった～！”
大きなおいもが掘れたよ。



お友だちとカードゲーム。熱中して遊んでいます。



1年生 プログラミング学習

明星小学校では1年生からICT教育の一環としてプログラミングの学習を進めています。

今年度は六月に初めてのiPadを使つての学習からスタートし、十月末に各クラスにて二回目の学習を行いました。

スクラッチジュニアというアプリでプログラミングの授業を行います。六月にはマスコットを上下左右に動かすというプログラムを作りました。そこから一歩進み、今回は背景画像をつけ、『繰り返し』のプログラムを作る学習です。体育の授業で行っている折り返しの運動をマスコットにもさせるプログラムを作ります。マスコットが体育館の端から端まで何回か往復するプログラムが作れたら完成です。

最初に、背景の換え方を学び、背景を体育館に変えました。その後に、「マスコットにも折り返しの運動をさせてみよう」と投げかけてみました。

子ども達は、一回の説明を聞いただけで、各自で始めます。わからないことがあっても、色々なブロックを自ら触り、友達の間を見て学んだり聞いたりしながらプログラミング学習を進めていきました。



繰り返ししの動作は、ブロックを同じように繰り返し繋げていけばできるのですが、それではとても長いプログラムになってしまう。子ども達は、『繰り返し返し』のプログラムをもっと楽に作れないかを考えます。教師の「オレンジ色のブロックを使ってみよう。」の一言で一気にブロックの調べ活動が始まりました。

「先生、数字を変えると繰り返し返しを勝手にやってくれるよ。」

「これにしたら同じことをしなくて済むから便利!」

「マスコットがダンスを始めたみたいで面白い。」

などたくさんさんの発見・感想が聞かれました。

そのうち、マスコットを増やして競走させる子どもも現れ、大盛り上がりでした。作品完成後は友達に見せ合ったり、動かしたりして楽しむ姿が見られました。

プログラミング学習の授業は、子ども達にとってゲームと同じで遊びながら学習を進められる楽しい時間となりました。

(文責 1年生)

2年生

秋が深まる十一月、府中の森公園へ校外学習に出かけました。今回は、学年の交流をさらに深めていくために、クラスを越えたグループを編成し、活動しました。事前に話し合いの時間を設け、準備を進める中で気持ちを高め、当日を迎えました。



自然に囲まれた環境で、スペシャルミッションにチャレンジするスタンプラリーに挑戦しました。中には苦戦するミッションもありましたが、グループで協力し、達成感を味わいながらクリアしていきました。

校外学習

「こんなに大きな葉っぱを見つけたよ!」「落ち葉がふかふかしている!」などの発見をしながら、自然を肌で感じ、楽しむことができました。



秋晴れの中、活動で得たさわやかな思い出をたくさん心に詰め込んで、帰路につくことができました。

(文責 二年担任)

三年生

★「海辺の教室」★



できました。

一日目の磯観察では、広大な磯で充実した活動を行い、普段は見られないたくさんの生き物を発見することができ、子ども達は大喜びでした。その後、クラスごとに海中展望塔や海の博物館に行き、生き物や千葉の自然の学習を深めました。

初めてのホテルでの生活は、楽しさから気分が盛り上がりました。友達と協力して過ごす姿や先を見通した行動から子ども達の成長を感じることができました。

二日目の鴨川シーワールドでは、グループごとに活動を行い、また、班のメンバーで上手に意見を出し合いながら、事前に決めていたルートに



六月に、海辺の教室に行つてまいりました。二日間とも天候に恵まれ、予定通り全ての行程を終えることができました。

そして海の生物の見学や、イルカショー、ペルーガのショーなどを楽しみました。

この海辺の教室で学んだことを今後の学校生活に生かしてほしいと願っています。

★明星祭のステージ発表…劇「四つ目の色」★

九月に明星祭のステージ発表として、劇「四つ目の色」を行いました。声を出す練習から始まり、セリフを覚え、体も使つてどう表現するかを考え、練習を重ねました。当日は、これまでの練習の成果を発揮して元氣よく堂々とセリフを言うことができました。みんなで舞台上に立ち、大勢の方の前で一つの物を作り上げるといっても貴重な経験となりました。終了後は、子ども達の満足した表情が見られました。



(文責 三年生)



四年生

「宿泊学習 秋の学校」

九月末に、四年生は山梨県河口湖畔にある足和田ホテルで宿泊学習を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で二年ぶりとなる宿泊学習となった四年生。「宿泊学習を体験する」だけでなく、宿泊学習を通して様々な学びを深められることをねらい、学年では事前に色々と計画を進めていました。

＜クラスごとの見学コース＞

今回の宿泊学習では、「自分達で計画すること」「話し合いを通して計画を練ること」をねらいにしました。クラスごとに見学可能な施設をいくつか提示し、クラスでどこに行くか話し合いました。その様子を見てみると、子ども達の真剣さが伝わってきました。タブレットを使い、地図アプリから施設ごとの距離を調べ、いる子、見学施設について調べ、そのよさを説明する子、みんなの考えをまとめようとする子など、一人ひとりが自主的に考え、話し合いを繰り返していました。自分達で行程を考えたことで主体的に宿泊行事と向き合い、事前準備を行うことができました。



＜宝永山での思い出作り＞



今回、初めての取り組みとして宝永山第一火口での思い出作りを企画しました。宝永山は五合目の入口から急な坂道になっており、子ども

にとっては、簡単に登れるコースではありません。学年では、その苦しいコースを全員で登りきったときの達成感をクラス全員で味わってほしいと考え、思い出作りの内容をクラスごとに話し合いました。「旗を立てたい。」「横断幕を広げて写真を撮りたい。」「など多くのアイデアが出てきました。各担任も、子ども達の思いを最大限尊重するために話し合いを重ね、調整しました。その様子については、子どもの言葉や写真から伝わるかと思えます。子どもだけではなく、担任も含めてクラス一体となつて思い出を作ることができました。

子ども達と一緒に創り上げた二年ぶりの宿泊学習は、大成功に終わりました。「自分達で創りあげる」という体験を大切にして、これからの学校生活もよりよく過ごせるよう、子ども達と話し合いを繰り返していきたいと思えます。

(文責 四年生)

五年生 山の学校

★三年ぶりの宿泊学習★

三年ぶりの宿泊学習です。当日までの子ども達は、それぞれと待ちきれない様子にあふれていました。

バスにゆられてまず到着したのは、車山高原。山頂の寒さはどれくらいか、面白い形の岩を見つけたよなど友達と会話をしながら登りました。現地では十日ぶりの快晴で山稜



は暑いくらいでした。帰りは四人乗りのリフトで降り、まるでアトラクションのように歓声をあげていました。

宿についてからは美味しいお食事をいただき、いよいよキャンドルファイヤー。点火儀式では、副校長先生が扮する山の神が表れ、燭台に代表児童とともに火をともしました。その後、お楽しみレクリエーション。松組は、「爆弾ゲーム」竹組は「竹取物語」



梅組は「怖い話」で他のクラスをおもてなしました。

二日目は、

起床後、ホテルの外に出て、朝会です。気温は二度。

冷たく爽やかな空気を胸いっぱい吸いながら、ラジ



オ体操で目を覚ましました。温かい朝食を食べてホテルの方にお礼の挨拶をすませ、いよいよ「鷹山ファミリー牧場」へと出発です。食と命の大切さを学ぶ三つのプログラムに参加しました。その内容は、ソーセージ作り、乳しぼり、トラクター乗車体験です。ソーセージ作りでは、グループごとに協力しながら、三十cmほどの長いソーセージの完成に大喜び。そして乳しぼりでは、一人ひとり優しく牛に話しかけるようにして、絞らせてもらいました。トラクター乗車体験では、自分たちがまるで運ばれる野菜になった気持ちで、坂道をぐんぐんと上り下りしました。最後には、牛乳とソーセージで乾杯。二日間の充実した宿泊学習をしめくりました。

今後の学校生活で、成長した姿をさらに見せられるようにこの経験を生かしていきます。

(文責 五年生)

思い出の時間の共有

～六年生 京都修学旅行～

十月五日から二泊三日の行程で修学旅行が実施されました。三年ぶりの実施となり、久しぶりの宿泊行事で六年生の子ども達にとって、前期終了前に、大きな行事を無事終えることができ、さらに一回り成長した姿を見せてくれました。

一日目は、新幹線で京都へ向かい、平等院鳳凰堂の見学と能楽堂での体験を行いました。



ホテルに着き、夕食後には清水焼の絵付体験をし、あっという間に一日が終了しました。

二日目は、終日班別行動の日でした。

た。タクシー会社さんから提示していただいたモデルコースから、自分達の行きたい場所を組み合わせ、計画を立てて当日を迎えました。



子ども達にとっては、運転手さんと有意義な時間を過ごせたようで、ホテルに戻ってくる表情は、皆笑顔いっぱいでした。

最終日は、清水寺の見学とお土産購入タイム。あいにくの雨模様でしたが、限られた時間を一杯楽しむ姿が見られました。



宿泊行事の総まとめ。クラスメイトと二十四時間共に過ごし、楽しい時間を共有できたことが、子ども達にとって最高の宝物となりました。

(文責 六年生)

地域に感謝の気持ちを！

～六年松組クラス探究活動報告～

今年度よりスタートした各学級での探究学習。協働学習を意識し、各クラスでSDGsについてテーマを決めて、学びを深めていく時間となっています。

六年松組では、「地域のお店と連携して」体験を通して学びを深める「～をテーマに掲げ、探究学習を進めていくことにしました。そこで、府中にある洋菓子店ジェノワーズさんのご協力のもと、様々な体験を通して学びを深める機会をいただきました。

本格的な活動は五月からで、体験を重視した活動を「知る・学ぶ・考える・発信する」の段階を重視した活動に分けて取り組みました。

活動の第一のゴールは、明星祭での商品販売としました。そこまでに、

「学ぶ」販売員(ラッピング)の実演



「知る」お店の方の講演



「考える・発信する」お店の方へのプレゼン発表会



「学ぶ」パティシエさんの実演

体験を重視した活動から、学んだこと・自分達の考えをお店の方々と共有しながら九月の明星祭を迎えました。

当日、クラス全員が店頭に立ち、販売員としてお客様に商品の紹介や品物の補充、アンケート用紙の配付など、普段は経験できないことができました。あいにくの大雨でしたが、想定を上回るペースで売り上げ、無事全商品を完売することができました。



明星祭当日の様子と開発した商品

明星祭後、お客様から回答していただいたアンケート結果をクラス全員で分析すると共に、お店の方からその日の売り上げや利益等の振り返りをいただきました。

この活動の最終ゴールは、二月の店舗販売です。前期の活動で学んだことを生かし、さらに子ども達の学びを深めると同時に、明星学苑のある府中の地に感謝の気持ちを届けられる活動にしていきたいと思えます。

(文責 六年松組担任)

5・6年生 くめぎの時間

探究学習

ゼミ活動がスタート！

明星小学校では、「探究」学習を本格的に導入していくために、五、六年生のくめぎの時間に「ゼミ活動」を導入することとなり、ここまでゼミ活動や探究学習に必要なスキルを身につける活動を行ってきました。

《課題発見でのスキル》

- ・ イメージマップ作成
- ・ プレインストーリーミング

《情報収集・分析でのスキル》

- ・ 取材
- ・ アンケート

《まとめ・表現》

- ・ プレゼンテーション

これらのスキルを体験しながら身につける活動を進めてきましたが、特に「取材」「プレゼンテーション」というスキルについては、それぞれ外部講師をお招きし、そのスキルを教えていただいたり、オンラインセミナーを開講したりして、より深く学んでいくことができました。プレゼンテーションの資料については、個人個人に学んだことを活かした、素晴らしい作品を作っていました。



プレゼン資料作りについてのオンラインセミナーを開催



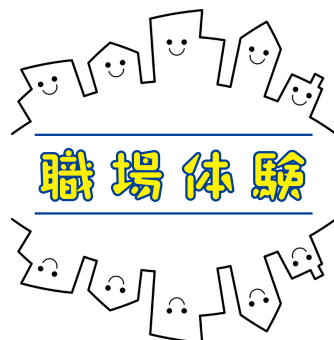
そして、十月に入り、自分が希望したゼミに入っている活動が始まりました。「国際ゼミ」「社会ゼミ」「文化ゼミ」「理数ゼミ」の四つのゼミに分かれ、自分が探究していきたい課題に取り組んでいきます。



今後は児童がより学びを深められるゼミ活動を目指し、様々なチャレンジをしていく予定です。ぜひご注目ください。(文責：探究学習担当)

職場体験

中高一貫二年 鈴川 結菜



「働きたくない。」これは子供から大人までずっと一度は思うであろう言葉です。

実際、2019年に行われた全国の働く男女10000人を対象にした調査では働きたくないと思っている人は全体の84%にのぼる事がわかりました。私も「朝電車で揺られ、仕事をして夜帰る」「定時に帰えることができず、残業をする」そんな生活はお金を稼ぐためだとしても送りたいとは思いません。私は会社に対して残業パラダイスというイメージがあるのですが、将来お金や生活の為にとしても私にとって働く事はとても億劫なことです。

しかし、そんな頑固な私の考えが今回の職場体験を経て変わりました。世の中には多種多様な会社があると知り、「働くことも私が思っ

いたより意外といいかもしれない」「お金以外の何かのために働いているのかもしれない」と考えるようになりました。私はデザイナー会社にお邪魔させていただいたのですが、そこは時間や場所の縛りがなく、自宅でデザインしても会社に来てデザインしてもよく、出勤時間が決められておらず、私が見ていたものは世の中にある会社のほんの一部ではない事に気づきました。また、私は会社員目線のことは考えることもありませんが、会社の経営に関する事は考えた事がありませんでした。いかに自分の視野が狭いのか実感しました。私の会社イコール堅いというイメージはいとも簡単に壊されました。

そして、職業体験という機会を学校が用意して下さったから今回視野が広がったけれど、

この先必ずしもこのような機会があるとは限りません。機会があった時有意義な時間を過ごせるかは結局自分次第です。また、知らないものを探するため、視野を広げるためには自分から動かなくてはこのような機会すらありません。

今回の職場体験は視野の狭さを実感したと共に、働くとはなんなのか一度足を止めて考える貴重な体験ができました。

職場体験

中高一貫四年 平山 慶哉

私は職業体験を通して様々なことを学ぶことができました。

2日間の企業訪問で、私は野菜や果物を仲卸する青果市場、自動車のレクサスを訪問しました。

1日目に訪問した青果市場では業務内容の確認、発表を行いました。実際に袋詰め体験もしました。午後は企業で販売している野菜のプレゼン資料の作成を3つの係に分担して行い、企業の方に発表をしました。

レクサスでは車の整備、車を説明する時に大切なことを学びました。整備では洗車、タイヤ脱着を体験しました。営業では、レクサスの車を販売する時に重要視していることの説明を聞きました。疑問に思うことを質問した際には、「仕事をするのはお金を稼ぐだけでなく社会をよくするため、売る側は商品の魅力を知ってもらうために日々努力をしている」ことを知ることができました。

職業体験では普段得ることができないものを得ることが出来ます。実際に触れることが大切だと改めて実感しました。



精密機器を実際に見て

中高一貫二年二組 清川 広翔

私の行った企業は「ブラックス」という電子機器を製造する会社でした。会社に入った時、凄く沢山の機械があつて大変そうだなと思いました。この会社では、カメラやスキャナーなどの基板設計やソフトウェアなどの開発をしていました。

会社の方から様々な機械に使う基板を見せられた時、沢山の電気を流す線や物凄い小さい部品が敷き詰まっっていて、とても細かいなと思いました。私たちは、部品を正しい位置に素早く接着させる機械を扱わせてもらいました。私は、一つ間違えてしまったら全てが狂ってしまうと思ってとても緊張しました。緊張したけれど友達と楽しく取り組めてよかったです。

私は、スピードメーターやスピーカーに興味を持っているので電子機器の会社を訪問することを希望しましたが、この基板には身近にあるほとんどの機械に使われているのだと知りました。改めて振り返ると、基板を作る仕事は、私たちの生活を快適にしてくれる大切な仕事だと感じています。

職場体験で学んだこと

中高一貫二年四組 古閑 永実理

私が職業体験に参加させていたいた場所はドミノ・ピザです。食に関する場所にとっても興味があり、製造工程や接客、そのお店の歴史等、多くのことを学びたく、希望しました。

実際にお店の歴史や製造工程を学ぶことはとても楽しかった反面、自分たちの想像を超えた努力や小さなことへの気遣い、ピザを提供するその一つひとつの行程に大切な意味と苦労があることがわかりました。

体験したお台場店は、一面ガラス張りのキッチンになっており、お客様に調理の様子を見せることで、より一層出来上りの楽しみや味への想像が豊かになるように工夫されています。この空間もお客様を引き付ける土台になっていることがわかりました。

今回、ピザを作る工夫だけでなく「短時間で出来立てを提供する」「礼の角度」「声を大きく元気よく」など、様々な気遣いにこそ人気の秘密があることを学びました。

職場体験で学んだこと

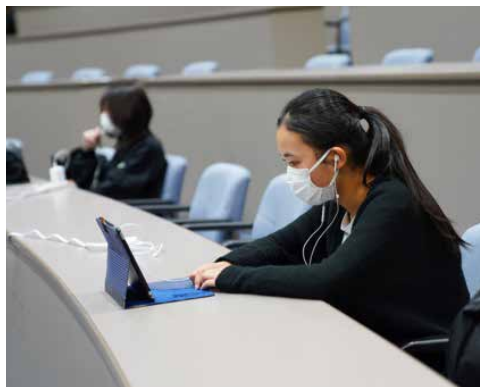
中高一貫三年三組 一山 優月

私は今回の職業体験で子供達が一

歩ずつ成長していく姿を見守り、サポートしている先生方の工夫を見て沢山の学びを得ることができました。

特に印象に残っているのは一番初めにクラスのみんなで作ったイス取りゲームです。まだ三歳だからみんな泣いてしまつてゲームにならないのではと思つていたのですが、ルールとして泣かないことというものがありませんでした。ゲームの途中で一人泣いてしまつたのですが担任の先生は「泣いて拗ねたらゲームとして面白くなくなるから今すぐやめて」と言いました。その時慰められると思つていた私は衝撃を受けると同時に泣くのをやめた子を見て今の一瞬で成長をしたということに対して驚きました。そしてその子が三回戦で勝つ姿を見て無意識に拍手が出ました。

二日間という短い時間の中でたくさんの事を見るだけでなく体験させていただきました。この経験を忘れずに、自分が働くという立場になった時に生かしていきたいと思います。



10月26日に学校で鎌倉イングリッシュプログラムに行きました。このプログラムは、ネイティブの外国人の方と生徒数人でグループになって鎌倉の町を歩いて楽しみながら会話をすると、というものです。

学校で習った

英語が通じた！

中高一貫二年三組 井戸 坂遥理

研修旅行



私は英語に興味をもつていて、最終的には英語を話せるようになりたいと思つています。だからこの企画は私にとって、とても適していると感じました。ただ、これまでGCPの授業でネイティブの先生と会話をする機会がありましたが、あまりたくさん話すことができなかったのこの鎌倉イングリッシュプログラムでも上手く話すことができるかな不安でいっぱいでした。

当日になり緊張しながら行つてみると、同じグループの生徒が話しかける様子がなかったので私は勇気を出して話しかけてみました。GCPでは単語だけで話すことが多かったのですが、今回は学校で習ったばかりの文法を使って話をしてみました。

Would you take a picture?



すると、上手く伝わり会話が広がりました。自信がなくて通じないと思っていた英語での会話が伝わったことによってこれまでにない嬉しさを感じることができました。

この事がきっかけで、消極的だった外国人との会話に自信を持てるようになりました。学校でのGCPとは違う環境で英会話をするというプログラムのおかげで、私は自信を持てるようになり、これからもっと積極的に英会話にチャレンジしようと思うことが出来ました。

研修旅行

中学三年五組 大澤 碧翔

今回の研修旅行で、積極性とネイティブの人と話す楽しさを学んだ。

その経緯は大きく2つある。
1つ目が、ESLやオンラインレッスンなどだ。

最初の1、2日目は頭の中でしっかり英文を考えてから発言していた。そうするとやはり発言までに時間が大きくかかってしまい、ネイティブの人と会話が止まってしまいうその状態を変えようとし、

「何でもいいので聞かれたことと近いことを発言する」という方法に変えた。

そうしたら、前とは大きく変わりが会話が始まることもなくなった。そして、ネイティブの人の笑顔も増えた。通じた自分も嬉しい想いになった。

2つ目が、フィールドワークだ。フィールドワークはレッスンとは違い、全く検討のつかないような単語を説明しなければならぬ時が多々ある。最初の何回かの時は全く分からなかったが、

回数を重ねることにそれに近い言葉が思い浮かぶようになり、何となくだがネイティブの人にも通じた。その度に嬉しい気持ちが出た。

このようなことから積極性とネイティブの人と話す楽しさを得た。

これからは、ネイティブの人と話す時は完璧なことは言葉ではなく、すぐに発言して気持ちや考えを伝えたいことを続けていきたい。

大阪語学研修

中学三年四組 望月 紗季

今回の、大阪語学研修でたくさん成長することができました。また、最初で最後の宿泊行事だということをふまえてもたくさん思い出ができました。いつもとは違う勉強方法で、大変で疲れてしまった部分もあるけど、1週間頑張った良かったと思いました。ひとつ目は、5分前行動についてです。学校にいるときは、チャイムに頼ってばかりだったと気づかされました。いちばん5分前行動で難しかったのは、フィールドワークのときでした。

ホテルの中とは違い、見知らぬ土地から5分前までに着くように逆算して行くのがうまくいきませんでした。いつもなら門限までに帰ることができれば、何も感じていませんでしたが今回のフィールドワークで門限ぴったりに着いたとき焦りを感じている自分がいることに気づきました。5分前行動に遅れてしまったことは良くないけれど、確かに私の門限に対しての意識が変わっていることに気づきました。これからも5分前行動を心がけていきたいと思いました。2つ目の集団行動も慣れないことが多かったけれど、USJや荻野先生からのプレゼントなどとても

いい思い出ができました。このように、たくさん思い出ができて、成長することができた1週間です。いちばん嬉しかったのは帰ってから母に「成長したね」と言われたことです。これからも母に認めてもらえるくらいに、成長していきたいと思いました。

高1MGSグローバル探究セミナーに参加して

高校一年十一組 平前 喜人

私達はこの三日間のグローバル探究セミナーで多くのことを学びました。一日目では、日本航空のCAの方々から、直々に講習を行ってもらいました。CAの方々の普段の様子や仕事内容を織り交ぜながら、礼儀正しい英語の使い方などを教わり、



敬語は日本語だけではないことなどを
知り、とても勉強になりました。ま
た、会話の中にジェスチャーを取り
入れたり、一つ一つの言葉の節に挨
拶を交えたりと、様々な工夫がみら
れていることに気づきました。

二日目では、空港で働いている人
たちの紹介や、海外の支部で働いて
いるネイティブのCAの方々とオン
ライン上で対話をしたりしました。
海外と日本の生活感や文化の違いな
どを、英語を通して聞きました。

三日目では、今までの講習を踏ま
え、自分の夢について英語でスピー
チを行い、それをもって三日間の成
果としました。また最終日午後には
チャーターフライトを行い、羽田を
離陸し、大阪上空を旋回して紀伊半
島、伊豆諸島を眺めながら、富士山
に沈む美しい夕日を見ながらこの2
泊3日のセミナーを総括できまし
た。特に、私は機内アナウンスを体
験する機会もいただき、短い間で
が有意義な時間を過ごすことができ
ました。

この体験を通して実社会を身近に
感じ、様々な場面でコミュニケーション
スキルの高めるとともに、自分
の将来についても考えることができ
ました。ここで得たものを今後の学
生生活に活用していけるよう頑張り
ます。

研修旅行に参加して

高校二年十一組 栗原 菜

コロナ禍によって行き先変更と2
度の延期がありました。MSクラ
スは民泊・伝統文化体験をしに石
川・福井・京都へ、SMGスクラ
スは民泊・自然体験をしに石川・富
山・長野へ、そして私たちMGクラ
スはEnglish Campをしに京都・大
阪へ行きました。

English Campでは外国人留学生
と京都観光案を立案・訪問し、そ
で学んだことをクラスメイトに英語
でプレゼンする、という内容でした。
最初はなかなか英語が伝わらず戸惑
いでしたが、同じグループのメンバ



立山集合写真



加賀友禅染体験

ーが率先してフォローしてくれた
り、皆でどう伝えればいいのかを考え
たりしてとても充実して過ごすこと
ができました。時間が経つことに留
学生とも積極的にコミュニケーション
を取るようになり、最後のプレゼ
ンでは自分でも納得のいくものに
仕上げることができました。

また、河村能楽堂での能体験、コ
ロナ禍でなかなか行くことができな
かった友人とのUSJ、長年行きた
かった清水寺や嵐山、平等院への参
拝・訪問など、その場所ではでき
ない体験を通してクラスメイトと一
層仲を深めることができ、一生忘れ
られない研修旅行になりました。

明星祭の公演

演劇部部長
高校二年三組 信藤 優奈

今年の明星祭はいかがでしたか。
三年振りに例年通りの明星祭を行
うことができ、私たち演劇部では、
アガサ・クリスティー原作の『招か
れざる客』を上演しました。今回の
舞台は、台本の内容が難しいことや、
男役ができる人が少なく他の部から
助っ人で出演してもらったなど、舞
台を作り上げるのに非常に苦労しま
した。特に大変だったのは、部員た
ち一人一人の台本の解釈の違いや、



方針の違いがあり、何回も意見がぶつかったことです。高2の中では話し合いをしても、他学年と話し合う機会が少なく、決定した情報が全員に行き届かないことが多くありました。一時は、部員同士でぶつかり合い泣いてしまったこともありましたが、そうした経験からコミュニケーションをとることは、ただ仲良くなるだけでなく、相手の考えを理解して信頼するためにあるということを学ぶことができました。様々な辛い経験と部員全員が努力した分、「演劇部がすごかった!」という嬉しい言葉をたくさんもらえたことで、今までで一番達成感と成長を感じられた公演となりました。これからも、この部活動を皆が楽しく成長できる場にしていきたいと思います。



インターハイ

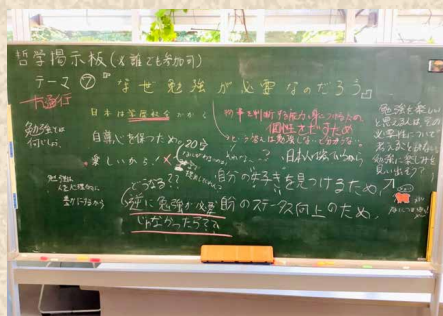
高校三年六組
深澤 咲喜

夏に行われた全国高等学校体操競技大会東京都予選会を通過し、高校生活の中で一番の目標にしていたインターハイに出場することができました。1年次の時はコロナ禍と怪我の影響で思うように練習ができずにいました。2年次のインターハイ予選では失敗があり出場することができずとても悔しい思いをしてきたので今回インターハイに出れたことはとても嬉しく思いました。

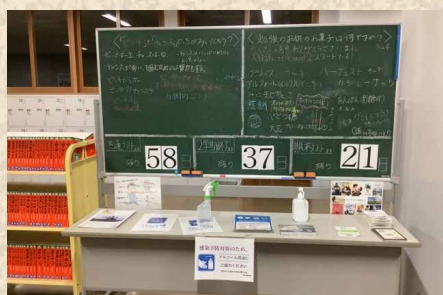
今回の予選はインターハイに出場できる最後のチャンスとなる大会だったのでも緊張感のある大会でした。苦手種目からのスタートだったのですが最初から失敗があり不安でいっぱいでしたが、残りの種目では気持ちを切り替えてミスなく演技をすることが出来ました。順位が発表されるまでもとても不安でしたが、名前を呼ばれた時は安心感と嬉しい気持ちでいっぱいでした。

本番では、緊張はありましたが自分の満足のいく演技ができ最初で最後のインターハイを楽しむことができました。

『哲学揭示板』



北棟の哲学揭示板



南棟高三本科学推主催揭示板

「なぜ勉強が必要なのだろう」「お金で買えないものとは」「今この瞬間が夢でないと証明しなさい」「火星移住計画に必要なものを考えよう」「民主主義の課題とは」などなど……

三階の廊下にそんなお題が毎週のように掲げられています。「哲学揭示板」※誰でも参加可。最初はある先生がお題を考えていましたが、いつの間にか生徒が自分たちでお題を考え始めました。現在テーマも約三〇個目。普段ふとした時に疑問に思ったこと、当たり前を疑ってみること、皆で考えてみたいこと、

議論してみたいこと、そんなことを自由に表現する場がこの「哲学揭示板」です。この揭示板がきっかけに本気で哲学や思想を大学で学ぼうと決意した生徒もいるとか。

時には黒板の前で熱い議論になる生徒同士、生徒はもちろん先生も何やら黒板の前で真剣に考え込んでいる姿がここにあります。

現在は高三本科学推が三階南棟にも発展させて揭示板を作成しています。あなたも哲学してみませんか？